

道

2020・5・6

通信 No 1583



タチバナスミレ

合唱団【道】の皆さま、はじめまして!!



7月より、この歴史ある団の指揮者としてお声をいただきました、声楽家の清水一成(いっせい)です。昨年末にこのお話をご相談いただいた時はもちろん、今日のような未曾有の事態は想定もしておりませんでした。それでもこうして一日一日皆さんと共に歩める“道”が少しずつ近くなってきている事、緊張と共にとても嬉しく感じております。早く皆さんに会いたい!!

“指導”という言葉はあまり私は好きではないんです。

まだ私自身僅かではありますが、今まで共演させていただいた様々なアーティストや指揮者にプロとして挑み積み重ねてきた経験を、少しでも皆さんにお伝えし共有出来たらなと。そして一日の練習に一つでいいので、歌うヒントの“お土産”をお持ち帰りいただけたらなと願っております。

合唱の楽しみ方は人それぞれですし、楽しみ方もいろいろです。

そして何よりも、前任の中山先生が築いていらした35年間という大きなキャンパスに、この先どれほどの色を描き足せていけるのか。団員お一人お一人と音を通じ会話し、楽しみながらまっすぐに音楽を紡いでいけたらなと思っております。

小坂先生、二宮先生どうぞ宜しくお願い致します。

(清水一成)

＜ リレー・エッセー 開始! ご協力お願いします ＞

書き終わった方が次の人を指名してその方をお願いしてください。次の人が、おしゃべり感覚で題材は何でもOKです。原稿は朝倉きみ子までお寄せください。Go~!!!

バリトンの増田です。「リレー・エッセー」のトップバッターとして投稿いたします。

平素は皆さんに何かとサポートして頂き、感謝しております。団の練習ができなくなり定演をどうするか、皆さんがアンケートを提出しましたが、それを読ませて頂きました時、皆さんが「道」のこと、定期演奏会のこと、さらに来場して下さるお客様のこと等を真剣に考え、発表されましたことに多大の感銘を受けました。「道」にはこんなに素晴らしい仲間が集まっていたことを改めて認識した次第です。

私たちが毎週練習してきたのは、よりよい演奏をするために他なりません、それだけではなかったようです。仲間と皆で声を合わせたり、談笑することが生活の一部になりモチベーションになっていた気が致します。

いつから練習が再開できるのか、来年の定演がどうなるのか現時点でわかりませんが、今回のアンケートを通して、「道」の絆、ワンチームとしての行動が確認できたのは本当に良かったと思います。

どんなことがあろうとも、私たちは力を合わせ乗り越えていきましょう。「道」には過去にも苦難の歴史がありました。それを乗り越えた諸先輩や私たち、今回も乗り越えられない筈がありません。

一日も早く皆さんにお目にかかれる日を待っております。